

再生可能エネルギーの主力電源化と地方創生

東京理科大学大学院経営学研究科 教授
東京大学名誉教授・一ツ橋大学名誉教授
経済学博士 橘川 武郎 氏

太陽光や風力、地熱、中小水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、国内生産できることから、エネルギー自給率の低いわが国においては安全保障にも寄与できる有望かつ多様で重要な低炭素のエネルギー源として注目されています。しかし、わが国の再生可能エネルギー比率は欧米諸国と比べて低い水準にあることから、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取り組みが進められています。その実現のためには、地域社会と連携した再生可能エネルギーの持続的な利用が不可欠といわれています。

本セミナーでは、エネルギー産業や地域経済活性化に関する研究をはじめとする数多くの著書や受賞歴のあるわが国を代表するオピニオンリーダーの一人である橘川先生から再生可能エネルギーを巡る最近の動向についてお話を伺います。ご興味のある方は是非ともご参加ください。

1. 日時： 2020年8月8日（土） 14:00～16:45
講演終了後近くの会場で有志による懇親会を開催する予定です（19時頃まで）。
2. 会場： 品川区立総合区民会館「きゅりあん」5F第4講習室
(JR大井町駅中央改札を出て左直進、ヤマダ電機住まいの館内を通り抜けた裏側)
地図：<http://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/>

3. 講演概要

新型コロナウイルスのパンデミックは、世界経済に大きな打撃をもたらし、エネルギー需要も大きく減退した。とくに化石燃料需要の減退が著しいなかで、ひとり堅調を維持しているのが、再生可能エネルギーに対する需要である。近年顕在化していた、使用時に二酸化炭素を排出するエネルギーから排出しないエネルギーへのシフト、集中型エネルギー供給システムから分散型エネルギー供給システムへのシフトという大きな流れ、つまり「エネルギー転換」と要約しうる流れは、パンデミックを克服したのちの世界では、いっそう強まることだろう。

加速するエネルギー転換の動きに取り残された感が強い日本政府も、ようやく重い腰をあげ、2018年に閣議決定した「第5次エネルギー基本計画」で、2050年までに「再生可能エネルギーの主力電源化」をめざす新しい方針を打ち出した。しかし、その一方で政府は、新方針を策定したにもかかわらず、2030年の電源構成における再生可能エネルギーの比率を上方修正せず、2015年に決定したままの22～24%という低い水準に据え置いた。これでは、政府が「再生エネ主力電源化」というスローガンを掲げながらも、それを本気で実行する気がないのではないかという疑問が生じるのは、当然である。

そこで本講演では、「再生エネ主力電源化」を本気で実現するためには何をなすべきかについて、正面から論じることとする。とるべき施策については、①既存のアプローチの枠内で実施可能な事項と、②「ゲームチェンジ」を起こし新たなアプローチを取り入れなければならない事項との、二つに分けて考察する必要がある。①に関しても、②に関しても、それらの施策は、地方創生にも資する意味をもつだろう。

4. 演者略歴

1951年和歌山県生まれ。

1983年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。

1983年青山学院大学経営学部専任講師、1987年同助教授。
 1993年東京大学社会科学研究所助教授、1996年同教授、経済学博士（東京大学）。
 2007年一橋大学大学院商学研究科教授。
 2015年東京理科大学大学院イノベーション研究科教授、2018年同経営学研究科教授。
 2020年国際大学大学院国際経営学研究科教授（現在に至る）。

【専門分野】

日本経営史・エネルギー産業論

【主な学会・協会・各種委員等の活動】

経営史学会前会長・社会経済史学会前評議員・企業家研究フォーラム前副会長・総合資源エネルギー調査会委員・東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授

【主な著書・受賞歴】

『再生可能エネルギー主力電源化への道』（白桃書房，2020），『イノベーションの歴史』（有斐閣，2019），『土光敏夫』（PHP研究所，2017），『応用経営史：福島第一原発事故後の電力・原子力改革への適用』（文眞堂，2016），『日本のエネルギー問題』（NTT出版，2013），エネルギーフォーラム賞大賞（2005），企業家研究フォーラム賞（著書の部）（2007），不動産協会優秀著作奨励賞（2008），エネルギーフォーラム賞優秀賞（2014），同特別賞（2020）

5. 参加費（会場でお支払いください）

- ・科学技術者フォーラム（STF）会員、学生 1,000円
- ・友好団体会員/メンバー：
 - 異普奇会、NPOエルダーシステム会員、経営支援NPOクラブ、
 - 次世代農業フォーラム、食品技術士センター、生体環境保全交流会、
 - 千葉県加工技術研究会、BCC-NET、表界研 など 1,500円
- ・STFセミナー講師経験者 1,500円
- ・一般 2,000円

※ 講演中の写真撮影や録音などは、ご遠慮願います。

6. 参加申込：下記の申込書に記入し、セミナー担当の太田宛メールでお申込み下さい。

E-mail：futotetsu@gmail.com

8/8（土）STFセミナー（第213回）参加申込み

- お名前： (ふりかな：)
- 所属（会社、事務所、団体）：
- メールアドレス：
- TEL： FAX：
- 参加区分：
 - ・科学技術者フォーラム（STF）会員、学生 1,000円
 - ・友好団体会員/メンバー：
 - 異普奇会、NPOエルダーシステム、技術士会千葉県支部、
 - 経営支援NPOクラブ、次世代農業フォーラム、食品技術士センター、
 - 生体環境保全交流会、千葉県加工技術研究会、BCC-NET、表界研、
 - その他の友好団体（名称： ） 1,500円
 - ・STFセミナー講師経験者 1,500円
 - ・一般（紹介者： ） 2,000円
- 懇親会： 参加 不参加（いずれか残す）
- 領収書（講演会）の必要有無： 有 無（いずれか残す）